

平成18年1月12日
東京電力株式会社
柏崎刈羽原子力発電所

1月定例所長会見における千野所長挨拶内容

私からは年頭にあたって所感を申し上げたいと思います。最近、原子力を取り巻く状況が動き始めたと感じています。国内では「原子力政策大綱」がまとまり、原子力の推進が改めて確認され、また、青森県むつ市での中間貯蔵施設も具体的に動き出しました。国際的にみても、原油価格の高騰や地球温暖化問題を背景に、原子力に対する評価が高まってきており、発電所建設の動きもでてきているようです。

こうした状況の中、当発電所としては、今年はこれまで取り組んできた業務品質の向上に一層の弾みをつけるとともに、成果を目に見える形であげて、原子力に対して吹き始めた風をしっかりと受け止め、安全安定運転に努めてまいりたいと考えています。具体的には、今年目標は発電所で働く全所員が一丸となって、世界最高水準の安全と品質をめざすとともに、地域共生への積極的な取り組みによって地域からの信頼をいただくこととあります。そのためには、発電所で働く一人ひとりが「業務品質をあげていく、労働災害を起こさない」という「決意」を持ち、日常の業務の中に安全や品質という考えがしっかりと定着できるよう「徹底」させていくことが重要だと考えています。

昨年暮れに猛烈な吹雪によって電気や交通機関などのライフラインが麻痺し、市民生活が大きく混乱しました。当発電所でも、首都圏への供給支障などはありませんでしたが、3号機が暴風雪による送電線への影響から、原子炉冷却材再循環ポンプがトリップし、発電機出力が約40万kWまで低下しました。当発電所としては、一瞬も絶やすことのできない電気というインフラを発電・送電・配電が一体となって安定供給に努めていかなければならないという責任を改めて痛感した次第です。

プルトニウムの利用計画について

今回公表した計画は、プルトニウム利用の透明性の向上をはかるために、原子力委員会決定に基づいて、事業者の責任において公表したものです。従って、現時点で具体的なプルスーマル計画を示すものではなく、あくまでも今後開始される国内再処理施設でのプルトニウムの利用計画について、現状を踏まえた上で申し上げられる範囲で公表したものです。

当発電所としては、地域の皆さまからの信頼回復に全力を挙げており、現時点でプルスーマルについてお話できる状況ではありませんが、国の政策のもとに、プルスーマルを含めた原子燃料サイクル事業を着実に推進することは重要であるとの

認識に変わりはなく、信頼回復を第一に、引き続き地域の皆さまのご理解をいただけるよう努力してまいりたいと思います。

BWR 運転訓練センター（BTC）における当社運転員の訓練について

当発電所としては、運転員の人材育成の一環として、1号機から7号機までの各6班・総勢約250名の運転員に対して、机上による研修に加えて、それぞれの職位に要求される知識・技能の修得や維持など、その目的に応じて定期的・計画的に、発電所構内およびこのBTCでのシミュレーター訓練を実施しています。

原子力発電所で万一トラブルが起こった際には、このように実際の発電所と同じ感覚で監視や操作訓練できる制御盤で訓練を行うことによって、パラメーターのちょっとした変化からプラントの異常を一早く察知することが可能となり、当直長をはじめとした運転員は原子力発電所の安全品質の向上と安定運転を達成することができるものと考えています。

今年は「戌（いぬ）年」です。戌は古くから人との付き合いがあり、親しみ深く社会性のある動物といわれていますが、私としても、このように勤勉で努力家な戌にあやかり、今年も安全で信頼できる発電所づくりに一生懸命取り組んでまいりたいと思います。

以上

添付) 柏崎刈羽原子力発電所DATE・BOX

柏崎刈羽原子力発電所DATA・BOX(平成18年1月)

発電所運転状況

平成18年1月12日

プラント名	現在の 運転(発電)状況	前回定期検査	過去1年間の運転状況												補足説明
			2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	
1号機 1,100MWe (S60.9.18運開)	第14回定期検査中 H17.6.14~	第13回 H14.9.3 ~ H16.5.14 停止期間 H14.9.3 ~ H16.4.8 (584日) (原子炉起動H16.3.27)	第13回定期検査による停止												【1号機】 ・12月12日、原子炉冷却材再循環ポンプの試験運転を行ったところ、ジェットポンプ1台(20台中)が他より低い流量を指示。1月5日までに点検作業を終了し、当該ジェットポンプの流量計測用配管(1本)の切損を確認。今後、原因調査とともに当該箇所の補修作業を実施する。(お知らせ済) 【2号機】 ・9月3日以来第11回定期検査を実施してきたが、12月22日に原子炉を起動、12月25日に発電を開始し、現在調整運転中。(お知らせ済) 【3号機】 ・12月22日、悪天候により発生した送電線事故の影響から原子炉冷却材再循環ポンプ(B)がトリップし、発電機出力が約40万キロワットまで低下。当該ポンプの健全性を確認し、翌23日、同ポンプを再起動させ出力上昇操作を開始。(お知らせ済) 25日、定格熱出力一定運転に復帰。 【6号機】 ・12月10日から第7回定期検査開始。(お知らせ済)
2号機 1,100MWe (H2.9.28運開)	第11回定期検査中 H17.9.3~H17.12.25 現在調整運転中	第10回 H15.3.10 ~ H16.8.3 停止期間 H15.3.10 ~ H16.7.2 (481日) (原子炉起動H16.6.28)	第11回定期検査による停止												
3号機 1,100MWe (H5.8.11運開)	運転中	第8回 H17.1.18 ~ H17.6.8 停止期間 H17.1.18 ~ H17.5.13 (116日) (原子炉起動H17.5.10)	第8回定期検査による停止												
4号機 1,100MWe (H6.8.11運開)	運転中	第8回 H16.8.7 ~ H17.4.20 停止期間 H16.8.7 ~ H17.3.25 (231日) (原子炉起動H17.3.22)	第8回定期検査による停止												
5号機 1,100MWe (H2.4.10運開)	運転中	第11回 H17.7.4 ~ H17.11.2 停止期間 H17.7.4 ~ H17.10.8 (97日) (原子炉起動H17.10.8)	第11回定期検査による停止												
6号機 1,356MWe (H8.11.7運開)	第7回定期検査中 H17.12.10~	第6回 H16.7.10 ~ H16.11.10 停止期間 H16.7.10 ~ H16.10.15 (98日) (原子炉起動H16.10.12)	第7回定期検査による停止												
7号機 1,356MWe (H9.7.2運開)	運転中	第6回 H17.3.1 ~ H17.8.2 停止期間 H17.3.1 ~ H17.6.23 (115日) (原子炉起動H17.6.20)	第6回定期検査による停止												

プラント名欄に記載してある出力は「定格電気出力」。

発電所設備利用率 (%) (12月末現在)

12月	64.7%
17年度累計	71.8%
運転開始後累計	77.4%

発電所発電電力量(MWh) (12月末現在)

12月	3,952,744
17年度累計	38,915,770
運転開始後累計	722,778,262

ドラム缶発生量(本) (H17年度第2四半期)

当期発生本数	806
貯蔵庫累積貯蔵本数	16,027
貯蔵庫保管容量	30,000

使用済燃料貯蔵体数(体) (H17年度第2四半期)

使用済燃料貯蔵プール貯蔵体数	11,464
使用済燃料貯蔵プール管理容量	16,257
使用済燃料貯蔵プール貯蔵容量	21,821

構内従業員データ (1月4日現在)

従業員数 (人)	東京電力	1,003	
	協力企業	4,517	
	合計	5,520	
協力企業 地域別比率	県内	柏崎市	55%
		刈羽村	6%
		その他	17%
		小計	78%
	県外	22%	
協力企業社数(社)	548		

来客情報 (12月末現在)

	12月(人)	年度累計(人)
地元	922	11,949
県内	474	20,506
県外	1,107	28,282
国外	58	469
合計	2,561	61,206

今後の主なスケジュール

予定日	内容
1月14日・15日	サービスホール de お正月(サービスホール)
1月20日・21日	第114回名画鑑賞会(柏崎エネルギーホール)
1月5日~1月31日	サービスホール1月のミニイベント(サービスホール)
2月9日	次回定例所長会見予定
2月11日	「いんのこまつり」(き・な・せ)
2月16日	「押し花 教室」(き・な・せ)
2月17日・18日	「押し花 教室」(柏崎エネルギーホール)
2月18日	「TEPCOふれあいツアークンサートPART17」 ~ポニージャックスと歌おう~ (柏崎市市民会館)
2月1日~2月28日	サービスホール2月のミニイベント(サービスホール)

テレホンサービス 0180-99-2277
 インターネットホームページアドレス <http://www.tepco.co.jp/kk-np/>

東京電力株式会社
柏崎刈羽原子力発電所
広報部
 0257-45-3131(代)